(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2010-143337
(P2010-143337A)
(43)公開日　平成22年7月1日(2010.7.1)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
B60J 3/02	(2006.01)	B60J 3/02	H	

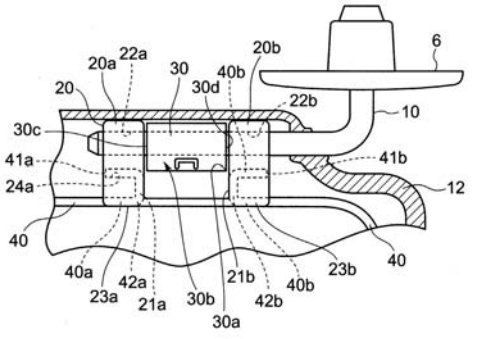
審査請求 未請求　請求項の数 2　ＯＬ　（全 15 頁）

(21)出願番号　特願2008-321399 (P2008-321399)
(22)出願日　平成20年12月17日 (2008.12.17)

(71)出願人　000124454
河西工業株式会社
神奈川県高座郡寒川町宮山３３１６番地
(74)代理人　100083954
弁理士　青木　輝夫
(72)発明者　熊田　磨
神奈川県高座郡寒川町宮山３３１６番地
河西工業株式会社内
(72)発明者　伊沢　篤
神奈川県高座郡寒川町宮山３３１６番地
河西工業株式会社内

(54)【発明の名称】車両用サンバイザー構造

(57)【要約】
【課題】車両用サンバイザーにおいて、部品点数の増加を招くことなく、軸受部材に差し込まれたワイヤーフレームの端部が軸受部材から抜けることを防止する。
【解決手段】ワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ、４０ｂをそれぞれ取り付けるためのワイヤーフレーム取付溝２４ａ、２４ｂが、シャフト軸受け部２０ａ、２０ｂの底壁２３ａ、２３ｂから段差部２１ａ、２１ｂにかけて凹設されたＬ字状溝と、底壁２３ａ、２３ｂと平行する向きに穿設される挿入孔２６ａ、２６ｂとを有し且つそれぞれ互いに逆向きのＵ字形状に形成され、ワイヤーフレーム４０における互いに逆向きの略Ｕ字形状に形成された両端部４０ａ、４０ｂがそれぞれ添設嵌合することで取付サポート２０に取り付けられ、更に、スプリング装着部２０ｃに装着した一対のばね片部３０ｂの互いに対向する端辺部３０ｃ，３０ｄをワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ、４０ｂに当接させた。
【選択図】図３



【特許請求の範囲】
【請求項１】
車体側に回動可能に装着されるシャフトと、該シャフトに回転可能に支持されてサンバイザー本体が取り付けられる取付サポートと、前記シャフトが跨設されるばね本体部および該ばね本体部に接続形成されて前記取付サポートに設けられたスプリング装着部に装着されるスプリングと、前記サンバイザー本体の内部周縁に沿って曲折して配置されその両端部が前記取付サポートに取り付けられるワイヤーフレームと、を有して構成される車両用サンバイザー構造において、
前記取付サポートは、薄肉状に形成された前記スプリング装着部を挟んでその両側に前記シャフトを軸受けするための厚肉状に形成された一対のシャフト軸受け部を有して構成され、前記各シャフト軸受け部と前記スプリング装着部との間にはそれぞれ段差部が形成され、かつ、前記各シャフト軸受け部には、前記ワイヤーフレームの両端部をそれぞれ取り付けるためのワイヤーフレーム取付溝が形成されており、
前記各ワイヤーフレーム取付溝は、前記各シャフト軸受け部の前記サンバイザー本体内方側の側壁部から前記段差部にかけて凹設されたＬ字状溝と、当該Ｌ字状溝に連続して前記側壁部と平行する向きに穿設される挿入孔とを有し且つそれぞれ互いに逆向きのＵ字形状に形成されており、
前記ワイヤーフレーム取付溝に、前記ワイヤーフレームにおける互いに逆向きの略Ｕ字形状に形成された両端部がそれぞれ添設嵌合することで前記取付サポートに取り付けられ、
更に、前記スプリング装着部に装着したばね辺部の端辺部を前記ワイヤーフレームの両端部にそれぞれ対向させることによって、前記ワイヤーフレームの前記取付サポートに対する抜け止め構造を施したことを特徴とする車両用サンバイザー構造。
【請求項２】
車体側に回動可能に装着されるシャフトと、該シャフトに回転可能に支持されてサンバイザー本体が取り付けられる取付サポートと、前記取付サポートに設けられたスプリング装着部に装着され前記シャフトを跨設するスプリングと、前記サンバイザー本体の内部周縁に沿って曲折して配置されその両端部が前記取付サポートに取り付けられるワイヤーフレームと、を有して構成される車両用サンバイザー構造において、
前記ワイヤーフレームの両端部は、互いに逆向きの略Ｕ字形状に曲折して形成され、
前記取付サポートは、前記スプリング装着部を挟んで両側に前記シャフトを軸受けするための一対のシャフト軸受け部を有して構成され、かつ、前記各シャフト軸受け部には、前記ワイヤーフレームの両端部をそれぞれ取り付けるためのワイヤーフレーム取付溝が形成されており、
前記各ワイヤーフレーム取付溝は、前記シャフト軸受け部における前記サンバイザー本体の遮光面に面する一方の側面から他方の側面に向かって形成された挿入溝と、前記各シャフト軸受け部内部において前記挿入溝に連続するように形成されたＬ字状溝および該Ｌ字状溝に連続するように形成されて前記他方の側面に形成した開口部により形成した略Ｕ字状嵌合部と、により構成し、該略Ｕ字状嵌合部に、前記挿入溝から挿入したワイヤーフレームの略Ｕ字状に形成された両端部を嵌合することで、前記取付サポートに取り付けることを特徴とする車両用サンバイザー構造。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、車両の運転席或いは助手席の前方或いは側方からもたらされる太陽光や対向車の前照灯光などの照射光を遮光すべくなした車両用サンバイザー構造に関する。
【背景技術】
【０００２】
一般に、車両たとえば自動車用サンバイザーは、車体にブラケットを介して回転可能に装着されるシャフトと、シャフトを回転可能に支持してサンバイザー本体を取付けるサポ

ートと、シャフトに跨設されるばね本体部およびばね本体部に接続形成されサポートのスプリング装着部に装着される二股状のばね片部を有するスプリングとを備えて構成している。

【０００３】

そして、前記サンバイザー本体は、射出成形体或いはビーズ発泡成形体等の成型品からなる樹脂芯材の外表面に織布、不織布或いはＰＶＣシート等のサンバイザー表皮を被包することにより構成しており、通常、その成形時に、前記シャフト、サポート或いはこれに取り付けられたスプリングなどをインサート成形するようになっているとともに、樹脂芯材の周辺部に曲折して這設されるようにワイヤーフレームをやはりインサート成形しており、該ワイヤーフレームは、前記インサート成形する際に、その両端部が前記サポートに取付けられて、端末処理されている。

【０００４】

このように構成された従来の車両用サンバイザーとして、例えば、特許文献１には、四角枠状のコアワイヤー（ワイヤーフレーム）の各端部を固定するバイザーホルダを備え、バイザーホルダの対角線上の角部に、コアワイヤーの各辺部分を弾力に抗して定形位置でそれぞれ嵌合する溝と、各溝の底部にコアワイヤーの各端部のフック部をそれぞれ嵌入する孔とが形成された自動車用サンバイザーが開示されている。

【０００５】

また、特許文献２には、車体天井側に固定されるシャフトと、サンバイザー本体に内設されシャフトが回動可能に嵌合する軸受部材と、サンバイザー本体の内部周縁に配されてＬ字状の両端部が軸受部材の両脇に形成された嵌合溝孔に差し込まれ嵌合されるワイヤーフレームとを備える自動車用サンバイザーが開示されている。

【０００６】

特許文献１や特許文献２に開示された自動車用サンバイザーでは、ワイヤーフレーム（コアワイヤー）は、サポート（バイザーホルダ、軸受部材）の互いに対向する両側壁部に溝あるいは孔状の嵌合部を形成し、該嵌合部にワイヤーフレームの両端部を嵌合することにより取付け端末処理を行うように構成していた。

【０００７】

したがって、ワイヤーフレームは、それ自体ばね性を有して構成しているものであることから、例えば自動車用サンバイザーに対して強い衝撃が加えられた場合などに、ワイヤーフレームの嵌合部に嵌合した両端部がサポートから抜けてしまうおそれがある。

【０００８】

一方、特許文献３には、サポートである軸受部材に取り付けられシャフト（支軸）に摩擦力を付与するとともにワイヤーフレームの一部が差し込まれるクリップを、支軸との間に摩擦力を付与する上クリップ体と、当該上クリップ体を拘束する下クリップ体によって構成し、下クリップに軸受部材からワイヤーフレームが抜けることを防止する抜け止部を形成した自動車用サンバイザーが開示されている。

【特許文献１】実開平３－２８１５号公報

【特許文献２】特開平９－２５４６４９号公報

【特許文献３】特開２００２－３６８７４号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００９】

特許文献３のように、クリップを上クリップ体と下クリップ体との２部材により構成して、下クリップ体をワイヤーフレームの軸受部材に挿入された部位に当接することにより、確かに、ワイヤーフレームが軸受部材から抜けることを防止することはできる。

【００１０】

しかし、特許文献３のような構成では、クリップを上クリップ体と下クリップ体との２部材により構成する必要があり、部品点数の増加し、組み立て工数が増加してしまう。

【００１１】

本発明は、車両用サンバイザーにおいて、部品点数の増加を招くことなく、軸受部材に差し込まれたワイヤーフレームの端部が軸受部材から抜けることを防止することを可能にした車両用サンバイザーの構造を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【００１２】

本発明に係る車両用サンバイザー構造は、第１に、車体側に回動可能に装着されるシャフトと、該シャフトに回転可能に支持されてサンバイザー本体が取り付けられる取付サポートと、前記シャフトが跨設されるばね本体部および該ばね本体部に接続形成されて前記取付サポートに設けられたスプリング装着部に装着されるべく二股状に形成された一対のばね片部を有するスプリングと、前記サンバイザー本体の内部周縁に沿って曲折して配置されその両端部が前記取付サポートに取り付けられるワイヤーフレームと、を有して構成される車両用サンバイザー構造において、前記取付サポートは、薄肉状に形成された前記スプリング装着部を挟んでその両側に前記シャフトを軸受けするための厚肉状に形成された一対のシャフト軸受け部を有して構成され、前記各シャフト軸受け部と前記スプリング装着部との間にはそれぞれ段差部が形成され、かつ、前記各シャフト軸受け部には、前記ワイヤーフレームの両端部をそれぞれ取り付けるためのワイヤーフレーム取付溝が形成されており、前記各ワイヤーフレーム取付溝は、前記各シャフト軸受け部の前記サンバイザー本体内方側の側壁部から前記段差部にかけて凹設されたＬ字状溝と、当該Ｌ字状溝に連続して前記側壁部と平行する向きに穿設される挿入孔とを有し且つそれぞれ互いに逆向きのＵ字形状に形成されており、前記ワイヤーフレーム取付溝に、前記ワイヤーフレームにおける互いに逆向きの略Ｕ字形状に形成された両端部がそれぞれ添設嵌合することで前記取付サポートに取り付けられ、更に、前記スプリング装着部に装着したばね片部の端辺部を前記ワイヤーフレームの両端部にそれぞれ対向させることによって、前記ワイヤーフレームの前記取付サポートに対する抜け止め構造を施したことを特徴とする。

【００１３】

かかる構成において、ワイヤーフレームにおける互いに逆向きの略Ｕ字形状に形成した両端部がそれぞれワイヤーフレーム取付溝に添設嵌合することで取付サポートに取り付けられると共に、スプリング装着部に装着した一対のばね片部の互いに対向する側端辺部をワイヤーフレームの両端部にそれぞれ対向させることによって、ワイヤーフレームのサポートに対する抜け止め構造を施すことができ、従来の技術に比較して部品点数を少なくして、しかもワイヤーフレームの抜け止め効果を確実なものとすることができる。

【００１４】

又、本発明に係る車両用サンバイザー構造は、第２に、車体側に回動可能に装着されるシャフトと、該シャフトに回転可能に支持されてサンバイザー本体が取り付けられる取付サポートと、前記取付サポートに設けられたスプリング装着部に装着され前記シャフトを跨設するスプリングと、前記サンバイザー本体の内部周縁に沿って曲折して配置されその両端部が前記取付サポートに取り付けられるワイヤーフレームと、を有して構成される車両用サンバイザー構造において、前記ワイヤーフレームの両端部は、互いに逆向きの略Ｕ字形状に曲折して形成され、前記取付サポートは、前記スプリング装着部を挟んで両側に前記シャフトを軸受けするための一対のシャフト軸受け部を有して構成され、かつ、前記各シャフト軸受け部には、前記ワイヤーフレームの両端部をそれぞれ取り付けるためのワイヤーフレーム取付溝が形成されており、前記各ワイヤーフレーム取付溝は、前記各ワイヤーフレーム取付溝は、前記シャフト軸受け部における前記サンバイザー本体の遮光面に面する一方の側面から他方の側面に向かって形成された挿入溝と、前記各シャフト軸受け部内部において前記挿入溝に連続するように形成されたＬ字状溝および該Ｌ字状溝に連続するように形成されて前記他方の側面に形成した開口部により形成した略Ｕ字状嵌合部により構成し、該略Ｕ字状嵌合部に、前記挿入溝から挿入したワイヤーフレームの略Ｕ字状に形成された両端部を嵌合することで、前記取付サポートに取り付けることを特徴とする。

【００１５】

かかる構成において、ワイヤーフレームの略Ｕ字状に形成された両端部を嵌合するワイヤー取付溝が、シャフト軸受け部におけるサンバイザー本体の遮光面に面する一方の側面から他の側面に向かって形成された挿入溝と、各シャフト軸受け部内部において前記挿入溝に連続するように形成されたＬ字状溝および該Ｌ字状溝に連続するように形成されて他方の側面に形成した開口部により形成した略Ｕ字状嵌合部によって構成することによってワイヤーフレームの抜け止め構造を施すことができ、従来の技術に比較して部品点数を少なくして、しかもワイヤーフレームの抜け止め効果を確実なものとすることができる。

【発明の効果】

【００１６】

上記したように、本発明は、従来の技術に比較して部品点数を少なくして、しかもワイヤーフレームの抜け止め効果を確実なものとすることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１７】

本発明を実施するための最良の形態（以下、「実施形態」と称す）について、以下図面を用いて説明する。

【００１８】

図１は、第１の実施形態に係る構造を採用した車両用サンバイザーの斜視図、図２は、図１の車両用サンバイザーの一部を破断して描画した正面図、図３は、図２の一点鎖線囲み内を描画した拡大図、図４は、図１における取付サポートに装着されるシャフト、スプリング、およびワイヤーフレームを分解して描画した拡大図を示す。

【００１９】

図において、車両用サンバイザーは、車両の運転席あるいは助手席の前方または側方に入射した照射光を遮光すべく矩形を呈するプレート状に形成されたサンバイザー本体１２と、車体（不図示）に回動可能にブラケット６を介して装着される断面略円形で且つ略Ｌ字形に曲折して構成されたシャフト１０と、シャフト１０に回転可能に支持されてサンバイザー本体１２が取り付けられる取付サポート２０と、シャフト１０の一端側に跨設されるばね本体部３０ａ及びばね本体部３０ａに接続形成され取付サポート２０に設けられたスプリング装着部２０ｃに装着されるべく二股状に形成された一対のばね片部３０ｂを有するスプリング３０と、サンバイザー本体１２の内部周縁に沿って曲折して配置され両端部４０ａ，４０ｂが取付サポート２０に差し込まれて装着されるワイヤーフレーム４０とを備え構成されている。

【００２０】

サンバイザー本体１２は、射出成形体あるいはビーズ発泡成形等の成型品およびワイヤーフレームを有し構成される芯材の外表面に、織布、不織布あるいはＰＶＣシート等のサンバイザー表皮を被包することにより構成している。

【００２１】

サンバイザー本体１２の内部に設けられる取付サポート２０は、ＰＰ等の合成樹脂を射出成形等により成形した樹脂成形体である。取付サポート２０は、その中央部を薄肉状に形成して構成するスプリング３０が跨設されるスプリング装着部２０ｃと、スプリング装着部２０ｃのシャフト１０の軸方向における両側に厚肉状に形成された一対のシャフト軸受け部２０ａ，２０ｂとを一体的に構成している。各シャフト軸受け部２０ａ，２０ｂとスプリング装着部２０ｃとの間にはそれぞれ段差部２１ａ，２１ｂが形成されている。

【００２２】

また、各シャフト軸受け部２０ａ，２０ｂには、それぞれサンバイザー本体１２の外方側である上端部に、シャフト貫通孔２２ａ，２２ｂが形成されており、シャフト貫通孔２２ａ，２２ｂにシャフト１０が挿通される。

【００２３】

さらに、各シャフト軸受け部２０ａ，２０ｂには、それぞれサンバイザー本体１２の内方側の側壁部である底壁２３ａ、２３ｂに、ワイヤーフレーム取付溝２４ａ，２４ｂが形成されており、ワイヤーフレーム取付溝２４ａ，２４ｂに後述のワイヤーフレーム４０の

両端部４０ａ，４０ｂが装着される。

【００２４】

ワイヤーフレーム取付溝２４ａ，２４ｂは、各シャフト軸受け部２０ａ，２０ｂのサンバイザー本体１２の内方側の底壁２３ａ、２３ｂから段差部２１ａ，２１ｂにかけて凹設されたＬ字状溝２８ａ，２８ｂと、Ｌ字状溝２８ａ，２８ｂの先端から連続して底壁２３ａ，２３ｂと平行する向きに穿設される挿入孔２６ａ，２６ｂとで、互いに逆向きＵ字形状を呈する屈曲溝形状に形成されている。

【００２５】

また、ワイヤーフレーム４０は、サンバイザー本体１２の内部周縁に沿って曲折され、両端部４０ａ，４０ｂは先端４１ａ，４１ｂが互いに逆向きの略Ｕ字形状に曲折され形成されている。言い換えれば、両端部４０ａ，４０ｂは、互いにサンバイザー本体１２の外方側にＬ字状に曲折したＬ字状曲折部４２ａ，４２ｂと、Ｌ字状曲折部４２ａ，４２ｂの先端からシャフト１０の軸方向に沿って互いに逆方向に曲折して延びる折返し部４４ａ，４４ｂとで、略Ｕ字状に形成されている。

【００２６】

取付サポート２０に設けられたスプリング装着部２０ｃに装着されるスプリング３０は、鋼板をプレス成形する等により形成されている。スプリング３０は、シャフト１０が跨設されるばね本体部３０ａ、及びばね本体部３０ａに接続形成されてスプリング装着部２０ｃに装着するべく二股状に形成された一対のばね片部３０ｂを有する。

【００２７】

このような構造において、ワイヤーフレーム４０は、次のように取付サポート２０に取り付けられる。

【００２８】

すなわち、ワイヤーフレーム４０の各端部４０ａ，４０ｂは、Ｌ字状曲折部４２ａ，４２ｂがＬ字状溝２８ａ，２８ｂに嵌合されるまで、折返し部４４ａ，４４ｂを挿入孔２６ａ，２６ｂに挿入することで、取付サポート２０のワイヤーフレーム取付溝２４ａ，２４ｂに嵌合する。さらに、両端部４０ａ，４０ｂをワイヤーフレーム取付溝２４ａ，２４ｂに嵌合した状態で、スプリング３０を上端側からスプリング装着部２０ｃに挟み込むことにより、段差部２１ａ，２１ｂに面し互いに対応する一対のばね片部３０ｂの端辺部３０ｃ、３０ｄが、ワイヤーフレーム４０のＬ字状曲折部４２ａ、４２ｂに対向することになる。

【００２９】

かかる構成を有する本実施形態によれば、一対のばね片部３０ｂの互いに対向する端辺部３０ｃ、３０ｄを、ワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ，４０ｂに対向させることにより、両端部４０ａ，４０ｂがワイヤーフレーム取付溝２４ａ，２４ｂから抜け出ることを防止することができる。また、本実施形態では、スプリング３０は、一部品から構成されているため、部品点数を増加させることなく、ワイヤーフレーム４０の抜け防止を実現することができる。

【００３０】

続いて、第２の実施形態について、以下図面を用いて説明する。

【００３１】

第２の実施形態に係るサンバイザーの取付構造では、ワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ，４０ｂの形状は第１の実施形態と大きな相違点はないが、ワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ，４０ｂと取付サポート２０との取付形態およびスプリング３００の取付サポート２００への装着形態が第１の実施形態とは異なる。

【００３２】

図５は、第２の実施形態に係るサンバイザーのうち、スプリング、および取付サポートを分解して描画した斜視図を示す。図６Ａ，６Ｂ，６Ｃ，６Ｄ，６Ｅ，６Ｆは、取付サポートにワイヤーフレームの両端部を取り付ける手順を順次描画した斜視図を示す。なお、図において、第１の実施形態において説明した部位に対応する部位については同一の符号

を付して詳細な説明は省略する。

【００３３】

図において、取付サポート２００は、スプリング３００が跨設されるスプリング装着部２００ｃと、スプリング装着部２００ｃのシャフト１０の軸方向における両側に形成された一対のシャフト軸受け部２００ａ，２００ｂとが一体的に構成されている。なお、第２の実施形態に係る取付サポート２００は、スプリング装着部２００ｃと各シャフト軸受け部２００ａ，２００ｂとの接続部分に段差部を設けなくても構わない。

【００３４】

取付サポート２００に装着されるスプリング３００は、シャフト１０の一端側に跨設されるばね本体部３００ａ及びばね本体部３００ａに接続形成されスプリング装着部２００ｃに装着される二股状のばね片部３００ｂ，３００ｃを有し構成されている。

【００３５】

さらに、ばね片部３００ｂ，３００ｃのうち、一方のばね片部３００ｂの先端部は、全体をシャフト１０方向（図５において上方）に曲折することによって引っ掛け片部３００ｂ－１が形成されており、引っ掛け片部３００ｂ－１が他方のばね片部３００ｃにおけるストレート状になったままの先端部３００ｃ－１を外側より巻き込むように引っ掛けた状態に組付けられている。

【００３６】

また、一方のばね片部３００ｂの略中央部には、下端が切り起こし片３００ｆが形成されている。さらに、一方のばね片部３００ｂの先端部３００ｃ－１の略中央には、外方に曲折されて、ストッパー片部３００ｇが形成されている。

【００３７】

一方、取付サポート２００のスプリング装着部２００ｃは、一方のばね片部３００ｂおよび他方のばね片部３００ｃを共に挿入した状態で装着する貫通溝２００ｄが形成されている。貫通溝２００ｄのサンバイザー本体１２の遮光面に面する一方の側壁２００ｄ－１には、切り起こし片３００ｆの先端部が係合するために下方に面する段差面２００ｆが形成されてスプリング装着部２００ｃが嵌合した状態で、ストッパー片部３００ｇが凹部２００ｇに引っ掛けられた状態になるように構成されて、スプリング３００をスプリング装着部２００ｃに装着されるようになっている。

【００３８】

さらに、スプリング装着部２００ｃの両側に設けられる一対のシャフト軸受け部２００ａ，２００ｂには、ワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ，４０ｂを取り付けるためのワイヤーフレーム取付溝２４０ａ，２４０ｂがそれぞれ形成されている。

【００３９】

各ワイヤーフレーム取付溝２４０ａ、２４０ｂは、シャフト軸受け部２００ａ、２００ｂの一方の側面２０２ａ、２０２ｂから他方の側面２０４ａ、２０４ｂに向かって形成された挿入溝２４２ａ、２４２ｂと、挿入溝２４２ａ、２４２ｂの先端に連続するようにシャフト軸受け部２００ａ、２００ｂの底面２００－１側に掘り下げた後シャフト軸受け部２００ａ、２００ｂの内部側に延在させ更に他方の側面２０４ａ、２０４ｂ側に曲折すると共に開口させて形成したＬ字状溝２４４ａ、２４４ｂと、Ｌ字状溝２４４ａ、２４４ｂに連続するように形成されて他方の側面２０４ａ、２０４ｂに形成した開口部２４２ｃ、２４２ｄとにより構成しており、ワイヤーフレーム４０の略Ｕ字状に形成された両端部４０ａ、４０ｂを嵌合させるために、Ｌ字状溝２４４ａ、２４４ｂと開口部２４２ｃ、２４２ｄとが略Ｕ字状を呈して、略Ｕ字状嵌合部２４６ａ、２４６ｂを形成している。

【００４０】

このように構成された各ワイヤーフレーム取付溝２４０ａ，２４０ｂに対してワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ，４０ｂは、図６Ａ～６Ｆに示す図の手順でＵ字状嵌合部に嵌合され取り付けられる。

【００４１】

すなわち、まずワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ，４０ｂを、一方の側面２０２ａ

，２０２ｂから挿入溝２４２ａ，２４２ｂに図６Ａの矢印方向に挿入し、先端部（折返し部４４ａ，４４ｂ）を開口部２４２ｃ、２４２ｄから突出させ（図６Ｂ参照）、さらに両端部４０ａ，４０ｂをシャフト軸受け部２００ａ，２００ｂの底面２００－１側に移動させて、両端部４０ａ，４０ｂをＬ字状溝２４４ａ，２４４ｂに、一旦嵌合させる（図６Ｃ参照）。

【００４２】

その後、ワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ，４０ｂにおけるＬ字状溝２４４ａ，２４４ｂとの嵌合部分を維持しつつ、当該嵌合部分を中心軸としてワイヤーフレーム４０に対して図６Ｄに示す矢印方向に取付サポート２００を回転させることで、ワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ，４０ｂを略Ｕ字状嵌合部２４６ａ、２４６ｂに嵌合させ、ワイヤーフレーム４０を取付サポート２００に取り付ける（図６Ｅ，６Ｆ参照）。

【００４３】

なお、図６Ｅは、シャフト軸受け部２００ａ，２００ｂの他方の側面２０４ａ，２０４ｂを正面とした場合の斜視図であり、図６Ｆは、シャフト軸受け部２００ａ，２００ｂの一方の側面２０２ａ，２０２ｂを正面した場合の斜視図を示す。

【００４４】

以上、第２の実施形態に係る構造を採用した車両用サンバイザーでは、ワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ，４０ｂは、取付サポート２００の他方の側面に形成された挿入溝２４２ａ，２４２ｂから挿入され、シャフト軸受け部２００ａ，２００ｂの内部に形成されたＬ字状溝２４４ａ、２４４ｂおよび開口部２４２ｃ、２４２ｄで構成する略Ｕ字状嵌合部２４６ａ、２４６ｂに嵌合される。

【００４５】

かかる第２の実施形態によれば、シャフト軸受け部２００ａ，２００ｂの内部に形成された略Ｕ字状嵌合部２４６ａ、２４６ｂに、互いに逆向きのＵ字形状を成すワイヤーフレーム４０の両端部４０ａ，４０ｂが嵌合されるため、両端部４０ａ，４０ｂが取付サポート２００から抜出しにくくすることができる。また、第２の実施形態では、取付サポート２００に形成されるワイヤーフレーム取付溝２４０ａ，２４０ｂを、Ｌ字状溝２４４ａ、２４４ｂおよび開口部２４２ｃ、２４２ｄで構成する略Ｕ字状嵌合部２４６ａ、２４６ｂで構成することによって、ワイヤーフレーム４０の抜け防止を実現しているため、部品点数を増加させることなく、ワイヤーフレーム４０の抜け防止を実現できる。

【産業上の利用可能性】

【００４６】

本発明は、従来の技術に比較して部品点数を少なくして、しかもワイヤーフレームの抜け止め効果を確実なものとすることができるために、車両の運転席或いは助手席の前方或いは側方からもたらされる太陽光や対向車の前照灯光などの照射光を遮光すべくなした車両用サンバイザー構造等に好適である。

【図面の簡単な説明】

【００４７】

【図１】第１の実施形態に係る構造を採用した車両用サンバイザーの斜視図である。

【図２】図１の車両用サンバイザーの一部を破断して描画した正面図である。

【図３】図２の一点鎖線囲み内を描画した拡大図である。

【図４】図１における取付サポートに装着されるシャフト、スプリング、およびワイヤーフレームを分解して描画した拡大図である。

【図５】第２の実施形態に係るサンバイザーのうち、スプリング、および取付サポートを分解して描画した斜視図である。

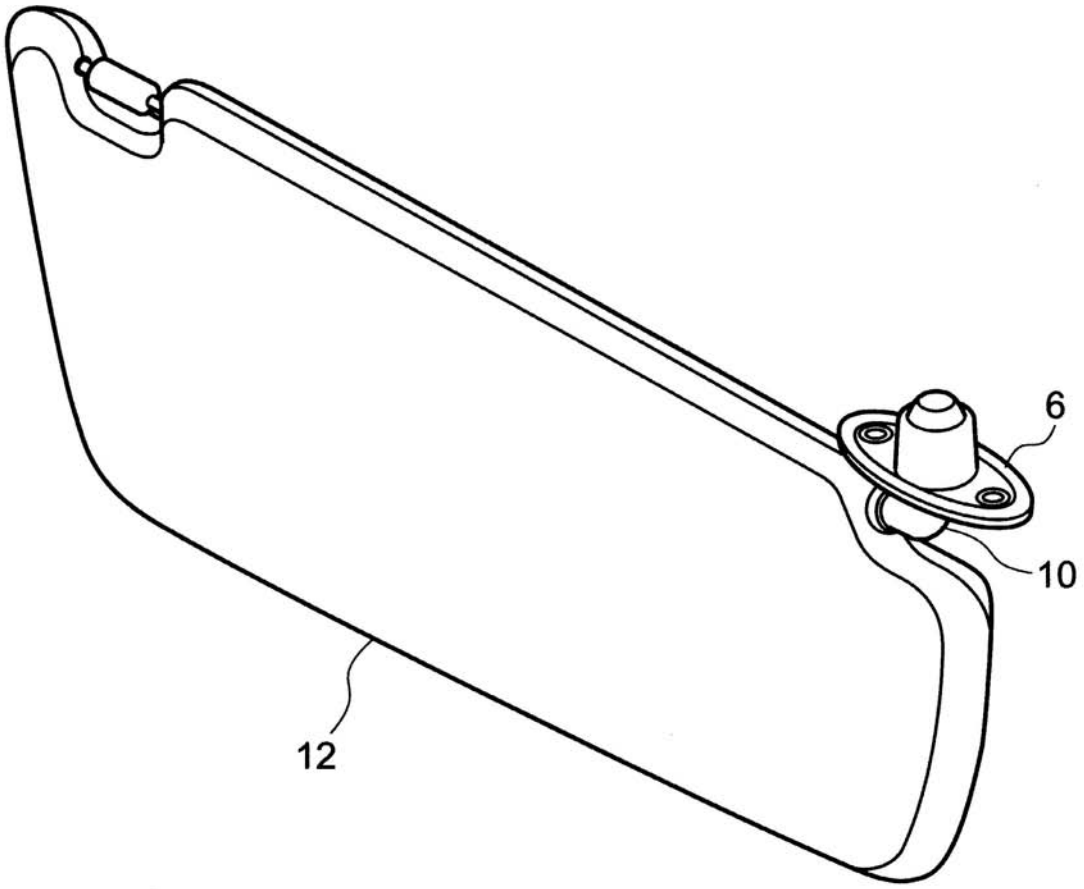
【図６Ａ】第２の実施形態において、取付サポートにワイヤーフレームの両端部を取り付ける手順を描画した斜視図である。

【図６Ｂ】第２の実施形態において、取付サポートにワイヤーフレームの両端部を取り付ける手順を描画した斜視図である。

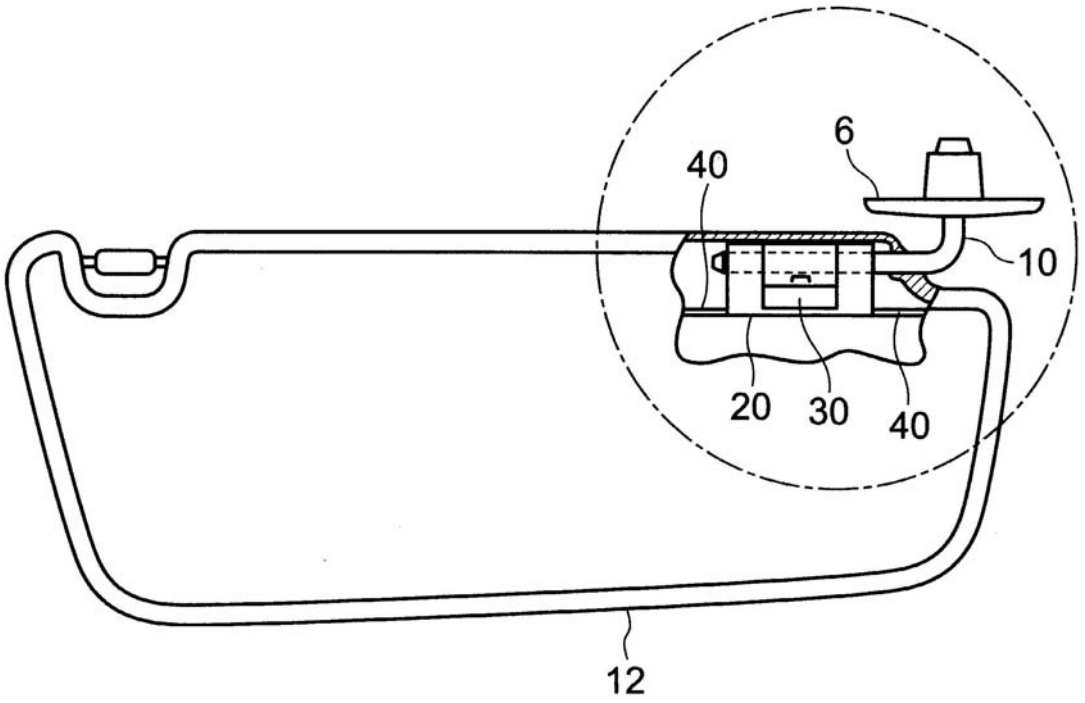
【図６Ｃ】第２の実施形態において、取付サポートにワイヤーフレームの両端部を取り付

ける手順を描画した斜視図である。
【図６Ｄ】第２の実施形態において、取付サポートにワイヤーフレームの両端部を取り付ける手順を描画した斜視図である。
【図６Ｅ】第２の実施形態において、取付サポートにワイヤーフレームの両端部を取り付ける手順を描画した斜視図である。
【図６Ｆ】第２の実施形態において、取付サポートにワイヤーフレームの両端部を取り付ける手順を描画した斜視図である。
【符号の説明】
【００４８】
１０　シャフト
１２　サンバイザー本体
２０　取付サポート
２０ａ、２０ｂ　シャフト軸受け部
２０ｃ　スプリング装着部
２１ａ、２１ｂ　段差部
２３ａ、２３ｂ　底壁（側壁部）
２４ａ、２４ｂ、２４０ａ、２４０ｂ　ワイヤーフレーム取付溝
２０２ａ、２０２ｂ　一方の側壁面
２０４ａ、２０４ｂ　他方の側壁面
２６ａ、２６ｂ　挿入孔
２４２ａ、２４２ｂ　挿入溝
２４２ｃ、２４２ｄ　開口部
２４６ａ、２４６ｂ　略Ｕ字状嵌合部
３０　スプリング
３０ａ　ばね本体部
３０ｂ　ばね片部
３０ｃ、３０ｄ　端辺部
４０　ワイヤーフレーム
４０ａ、４０ｂ　両端部

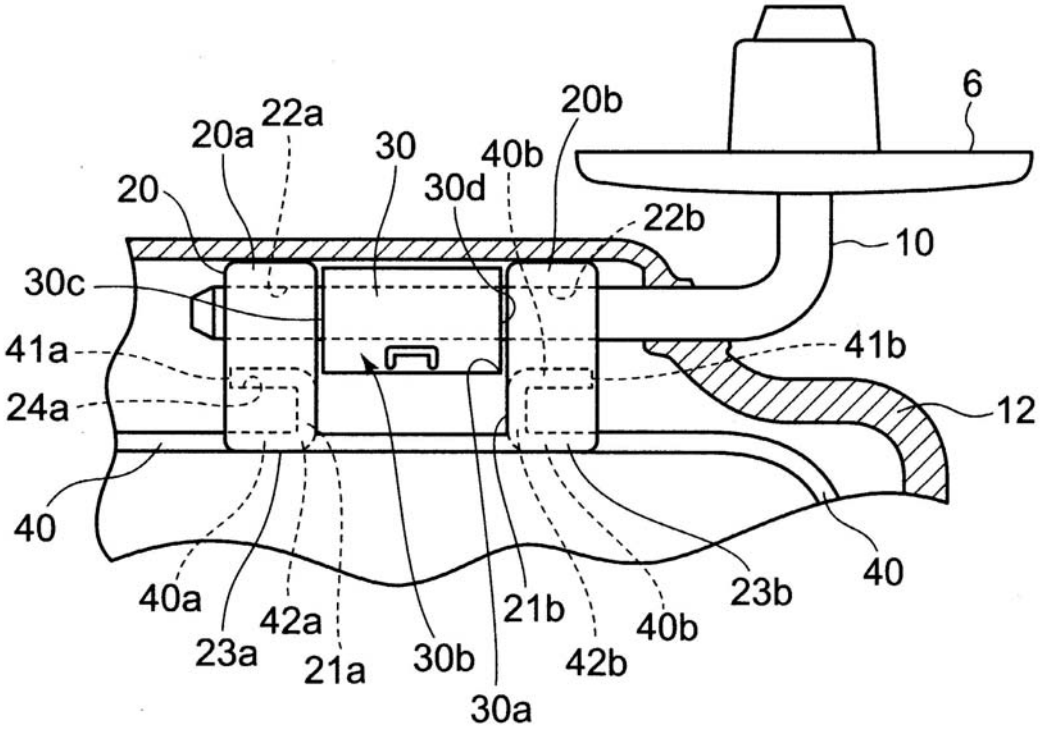
【図１】



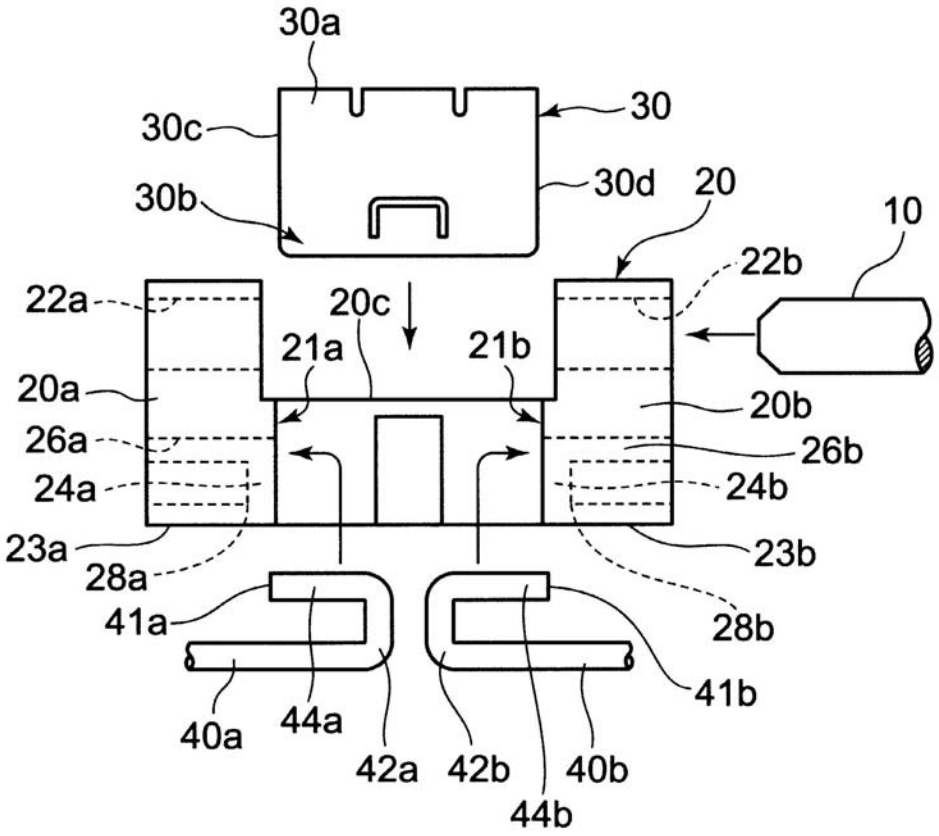
【図２】



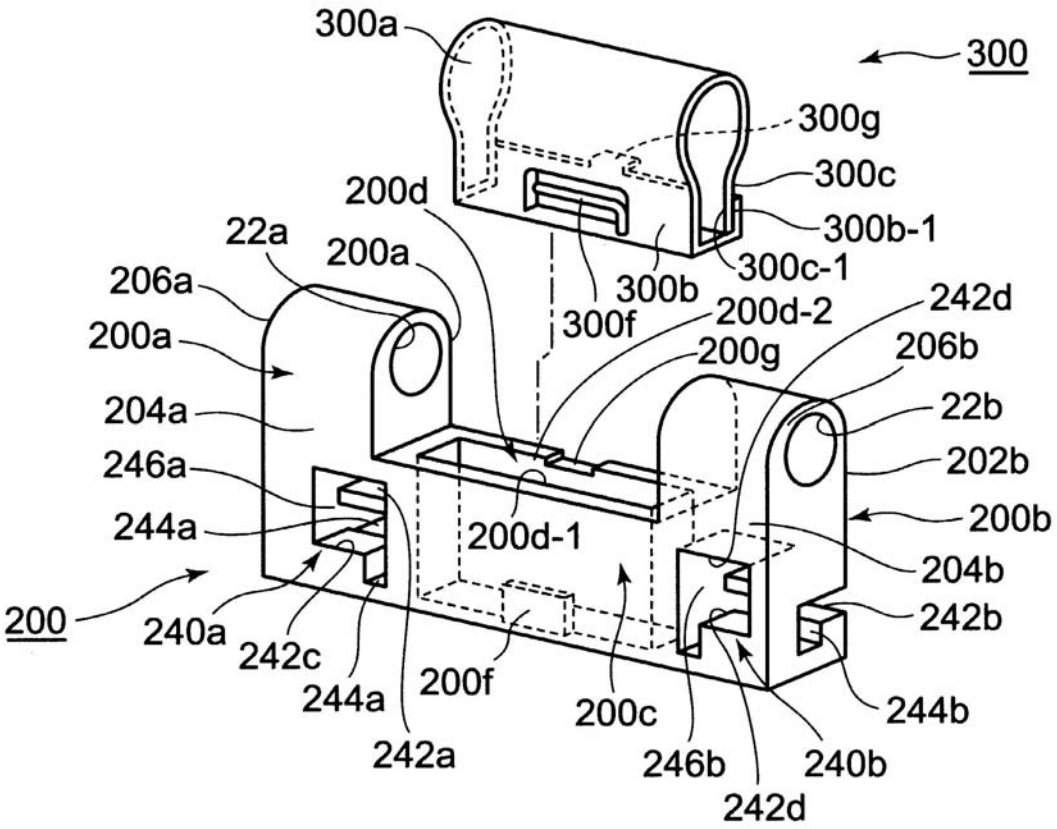
【図３】


6
20b
22a
20a
30
40b
20
30d
22b
10
30c
41a
41b
24a
12
40
40
40a
23b
42a
21b
40b
23a
21a
30b
42b
30a

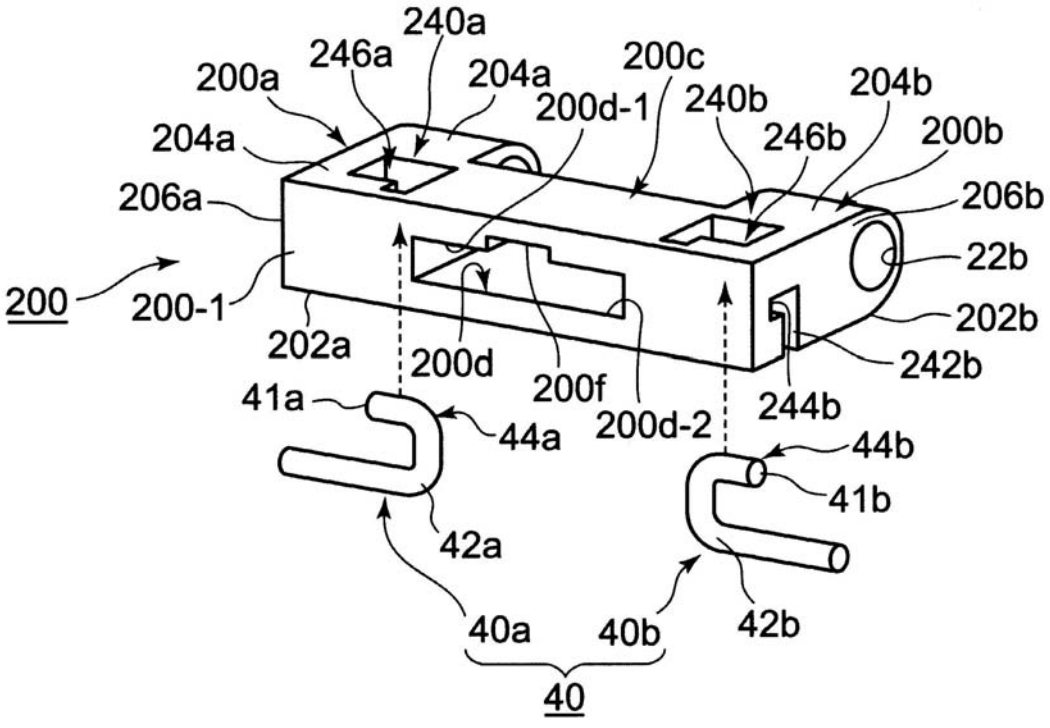
【図４】


30a
30
30c
30d
20
10
30b
22b
22a
20c
21a
21b
20a
20b
26a
26b
24a
24b
23a
23b
28a
28b
41a
41b
40a
44a
42a
42b
40b
44b

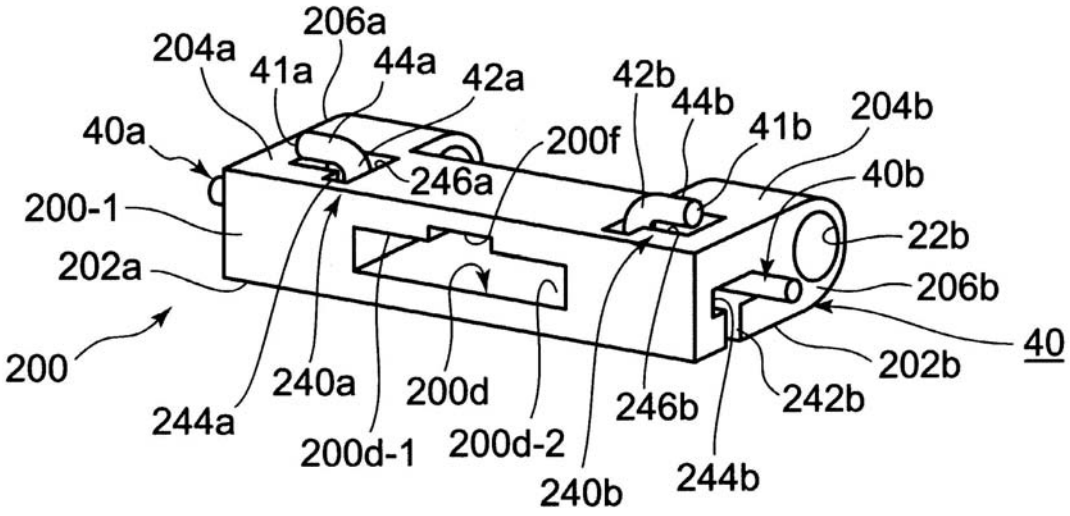
【図５】


300a
300
300g
300c
200d
300b-1
22a
200a
300c-1
206a
300b
242d
200a
300f
200d-2
206b
200g
204a
22b
246a
202b
244a
200b
200d-1
204b
200
240a
242b
242c
244a
200f
200c
244b
242a
246b
240b
242d

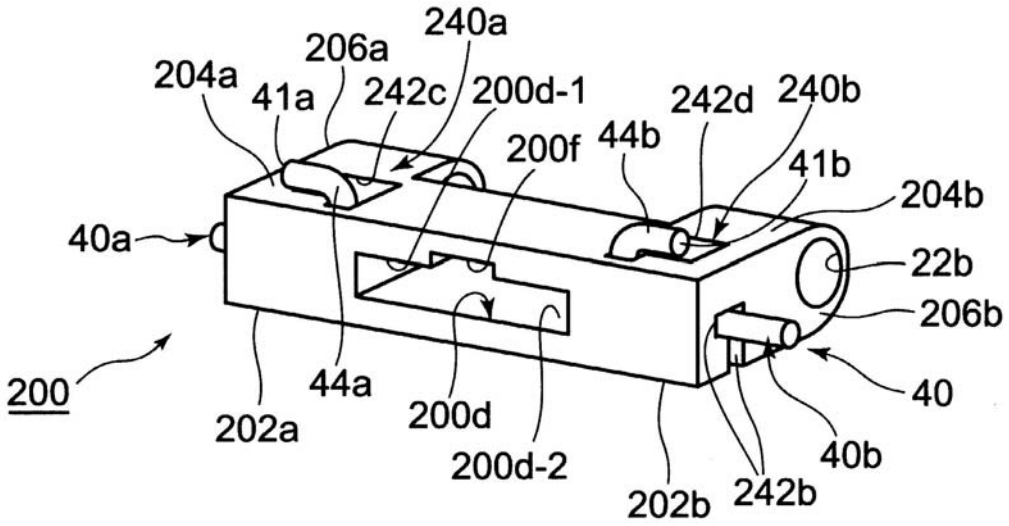
【図６Ａ】


240a
246a
200a
204a
200c
204a
200d-1
240b
204b
246b
200b
206a
206b
200
200-1
22b
202a
200d
200f
202b
242b
41a
200d-2
244b
44a
44b
41b
42a
40a
40b
42b
40

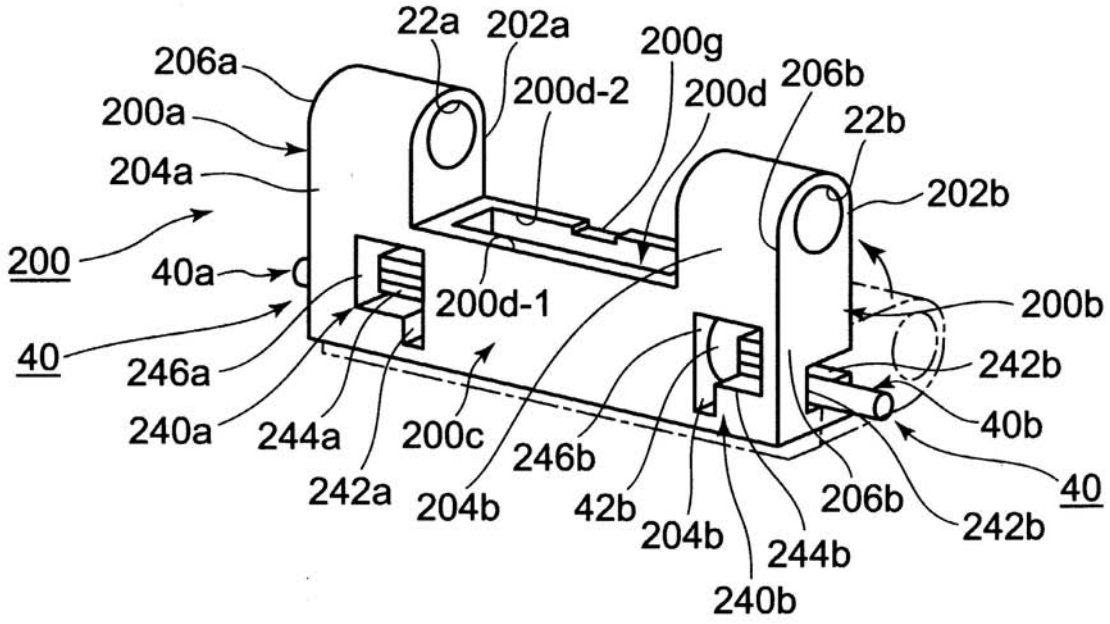
【図６Ｂ】


206a
204a
41a
44a
42a
42b
44b
41b
204b
40a
200f
246a
40b
200-1
22b
202a
206b
40
200
202b
242b
240a
200d
246b
244a
200d-1
200d-2
240b
244b

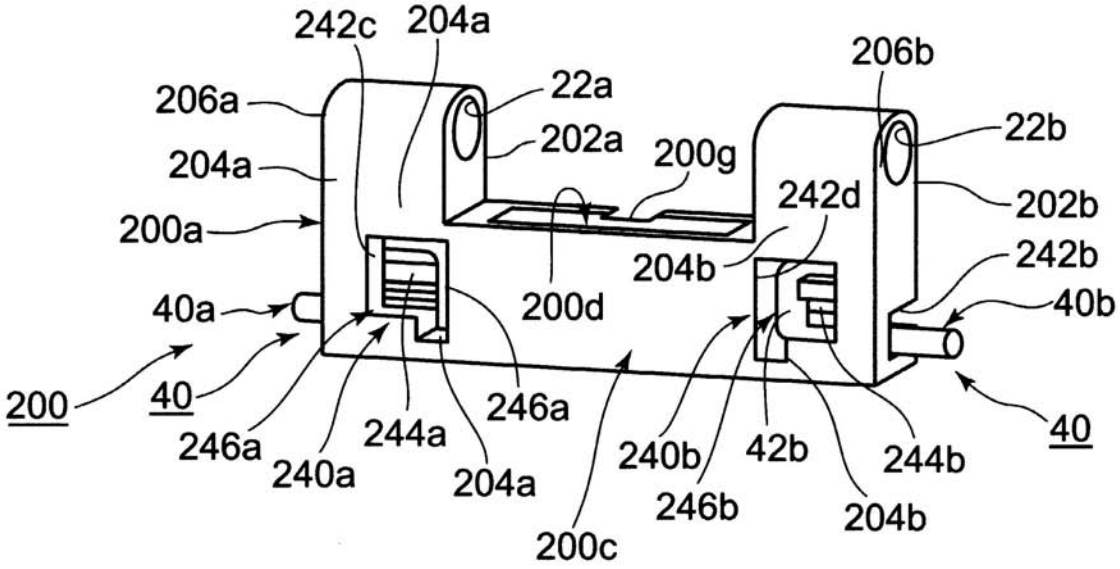
【図６Ｃ】


240a
206a
204a
41a
242c
200d-1
242d
240b
200f
44b
41b
204b
40a
22b
206b
200
44a
40
202a
200d
200d-2
40b
202b
242b

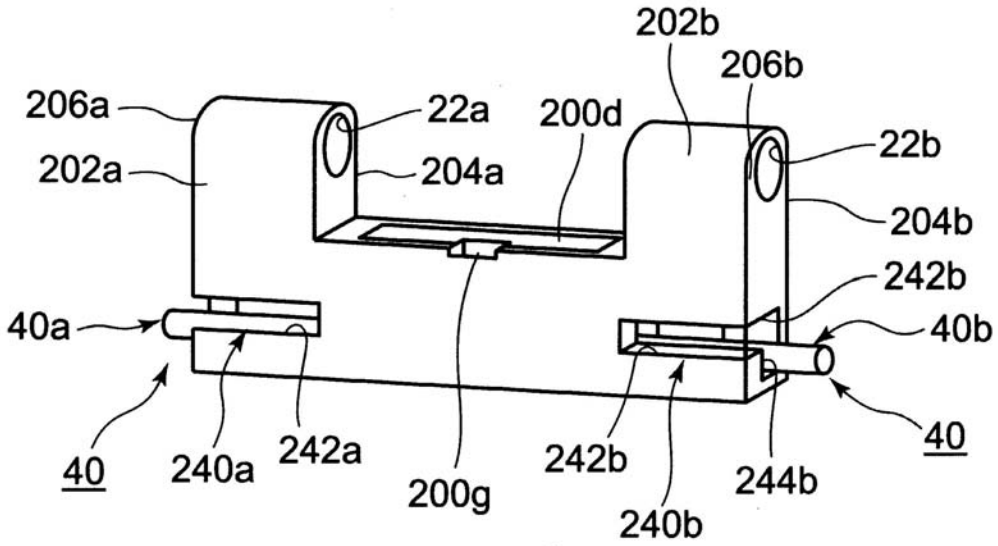
【図６Ｄ】


22a
202a
200g
206a
200d-2
200d
206b
200a
22b
204a
202b
200
40a
200d-1
200b
40
246a
242b
240a
244a
200c
246b
40b
242a
204b
42b
206b
40
204b
242b
244b
240b

【図６Ｅ】


242c
204a
206b
206a
22a
22b
202a
200g
204a
242d
202b
200a
204b
242b
40a
200d
40b
200
40
246a
246a
244a
240a
204a
240b
42b
244b
40
200c
246b
204b

【図６Ｆ】


202b
206b
206a
22a
200d
22b
202a
204a
204b
242b
40a
40b
40
240a
242a
200g
242b
244b
40
240b